

## 子どもの安心・安全を守る活動

子どもの安心・安全な環境づくりのためには、「子どもが自分自身を守る力を高めること」と「地域の見守り力を高めること」の両輪が必要です。

専門家とも連携し、地域で活動する方々が直接指導できる教育プログラムの開発や、活動する方々のサポートに取り組んでいます。

### ◎ 教育プログラムの開発・普及

#### 防災

保育園・幼稚園向け



防災教育紙芝居  
「じしんのときのおやくそく」

配布数  
のべ **10,000** 園

#### 防犯

小学校  
低学年向け



子どもの安全・安心ハンドブックと  
安全教室実施パッケージ

冊子配布数  
のべ **13.2** 万部

#### 情報モラル

小学校  
中・高学年向け



初めてのスマホ安心ガイドブックと  
安全教室実施パッケージ

冊子配布数  
のべ **11.5** 万部

※配布数はすべて2019年2月時点

### ◎ 情報発信でのサポート



安全力の向上を目指す  
方への情報発信サイト  
「子どもの安全サポーターズひろば」  
<https://benesse-kodomokikin.or.jp/activity/anzen/index.html>

左記教育プログラムのお申し込みはこちらから！



2019年度は

より多くの方に活用いただけるよう、普及拡大を目指します。情報モラルについては、子どもたちを取り巻く環境変化やより新しい情報に即した内容に更新していく予定です。

## 経済的困難を抱える子どもの学び支援

日本において深刻化する社会課題である「子どもの貧困」に対する取り組み。主には助成事業を通じて、地域での活動を支援するとともに、自主事業として、助成団体同士の

ノウハウ共有やネットワーク化から見えた団体共通の課題解決のモデルづくりにも取り組んでいます。

### 支援人材の育成

ユースソーシャルワークみやぎ

人材育成計画の  
立案・実施  
コミュニティ創出

連携

公益財団法人 ベネッセこども基金

ノウハウを全国の  
団体へ共有

現場を担う若手人材の確保と育成が多くの団体の共通課題であると認識。「ユースソーシャルワークみやぎ」との共同事業として、全国の団体へ取り組み内容や知見を共有していく。

### NEW

#### 学びの質向上

地域の支援団体

学び直し教材を  
活用した支援

学びに向かう意欲を  
向上させる知見

公益財団法人 ベネッセこども基金

全国展開する環境づくり

最適な教材とともに、学びに向かう意欲や基礎学力の向上について、選考団体と連携し、団体の保有する解決アイデアやノウハウを他団体が活用できるコンテンツとして開発。

### NEW

#### 支援現場の課題の社会発信

公益財団法人  
ベネッセこども基金



子ども支援の現場や担い手が抱える課題の現状調査を実施。エビデンスをもとに課題提起し社会全体の理解と議論環境をつくる試み。

2019年度は

各テーマごとにコンテンツの創出および実施を行い、社会全体に発信できるようにしていきます。

## 重い病気や障がいを抱える子どもの学び支援

重い病気や障がいによって、学びに対するサポートを必要としている子どもとその保護者に対して、病院・学校・活動団体や専門家等と連携し、有効な学びのモデルづくりや情報提供などを行っています。

### 院内学級での学び支援プロジェクト



東京都内の特別支援学校4校と連携し、分身ロボット OriHimeを活用した学び支援プロジェクト

特別支援学校・校長会での成果発表など、社会発信も!



### 発達障がいのある子どもと保護者の学び支援

情報提供による支援



発達障がい支援サイト  
メール&リンク



子ども向け支援



発達障がい支援ワークショップ「音と光の動物園」

保護者向け支援



自分を知り、やさしい子育てを実践するためのプログラムを開催 →P9~13掲載

2019年度は

引き続き、有効な学びモデルづくりや情報提供などを行いながら、都内および地方での展開をしていきます。また、保護者支援プログラムをさらに普及していきます。

## よりよい社会づくりにつながる学び支援

“ソーシャルリーダーシップ”=「地域やコミュニティに主体的に関わり、社会をよりよくしていく一員としての役割を果たすことができる力」であり、未来を生きる子どもたち全員に必要な能力であると定義。先進的な取り組みがある団体と連携しながら、よりよい社会をつくる子どもたちを育てていきます。

### 親子でチャレンジ国際理解！ ちびっこおえかきコンテスト



2018年度結果  
応募数：2,083作品  
参加園：121園  
表彰式には約150名の園児や保護者などが参加

認定NPO法人グッドネーバース・ジャパンと共催で実施している、就学前の子どもたちが保護者と一緒に発展途上国の問題について学ぶ教育プログラム。

### 国際パラリンピック委員会公認教材 『I'm POSSIBLE』日本版



国際パラリンピック委員会公認教材  
『I'm POSSIBLE』日本版  
全国の小中高特支学校  
38,000校に配布

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会/日本財団パラリンピックサポートセンターと連携して、共生社会を目指す教材を開発。

### 高校生英語ディベート大会



▲ 2018年度日本代表団のみなさん

世界大会は2018年7月17日～25日に  
クロアチアのザグレブで開催

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟(HenDA)の国際委員会と共同で、日本代表チームの国際大会への派遣事業などを企画・運営。

2019年度は

2018年度までのテーマを継続して実施し、さらに当団体の強みを活かせるテーマでの新規の取り組みも検討していきます。